

巻頭言

この1年と新たな挑戦！

三戸郡小学校視聴覚教育研究会
会 長 木 村 明 彦

早いもので平成25年度の本研究会の活動がまもなく終わろうとしています。昨年のような大きな研究発表会は無かったものの、校務で忙しい中であって今年度の事業を無事閉じることができたことを嬉しく思います。

秋の研究発表会上学年部会では南部町立向小学校研究員 佐藤 幸広 教諭による6学年保健「病気の害」を、下学年部会では南部町立福地小学校 圓子 靖子 教諭による3学年算数「小数のたし算」の授業公開をしました。授業者をはじめ、研究協議の司会・記録にあたっていた先生方、当日の準備や運営にご尽力くださった事務局の先生方、そして、研究会場を提供して頂いた校長先生初め諸先生方に改めて感謝と敬意を表します。

また、恒例となっている夏季研修会では八戸市立是川小学校 石井 一二三 先生による「使ってみませんか？ フラッシュ型教材」の講話・模擬授業を、冬季研修会では奥州市立常磐小学校副校長 佐藤 正寿 先生による「基礎基本を培うためのICT活用のコツ」の講話・演習を開催することができました。各研修会とも30名ほどの参加があり、ICT活用の「いろは」から「効果的な活用」に至るまで楽しいながらも充実した研修会にすることができました。講師先生方に重ねてお礼申しあげます。

さて、今年度から上学年部会と上学年研究部、下学年部会と下学年研究部の組織でスタートしました。昨年の巻頭言で「ルールに乗せるまで、各役員並びに会員諸氏の皆様にご苦勞をおかけすることになる」と記しましたが、いかがだったでしょうか。確かに負担は大きかったというのが本音かと思います。しかしながら、初年度にしては上出来だったとも評価されています。先般の役員会では、「来年も組織改編のねらいを踏まえ、課題が出たところは1つずつクリアしていこう」との意見が出され、大変頼もしく感じました。「役割や立場が人を作る」と言われるように、80名で一つの研究組織よりも、40名の研究組織で一人一人が何らかの役割を持った方が、実りある研究・修養になります。会員同士の距離感が縮まり、本音を言い合うことで力ある研究会に育ちます。この力が子どもに還元されます。今後ともフロンティア精神を忘れず、常に前向きに歩むことを願っています。

次年度は新たな挑戦として、会のHPを立ち上げようと動いています。指導案のアップや研修会のお知らせ・お願い、ちょっとした授業アイデアなど、会員の電子サロンになってもらえればと思っています。数年にまたがったとしても、この過程や運営も研究委員の継続的な研究テーマになりえると考えています。今後、立ち上げに関してプロジェクトチームを編成する予定ですので、その節は積極的に参加していただければ光栄です。

最後になりますが、これまで懇切丁寧なご指導を頂戴した青森県教育庁三八教育事務所主任社会教育主事 小泉孝一氏、同指導主事 管 宏氏、そして三戸郡小学校校長会様に衷心より感謝申し上げますとともに、会員皆様の今後ますますのご活躍をご期待申し上げて巻頭言といたします。この1年間誠に有り難うございました。

平成26年3月吉日 記